

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
西山 忠博, 中馬 成子, 塩野 徳史, 吉井 紀子, 田中 亮子			
水3、4			
添付ファイル			

科目の概要	対象者を「生活する人」として捉え、対象者が安全・安楽に過ごせるよう援助するための基本的技術の習得を目指す。講義と演習を通して、看護技術提供のための理論的・実践的知識の習得と、適切な看護方法を計画し、安全かつ的確な看護援助を行うための基本的技術を習得する。また、演習を通じて看護技術提供に必要なコミュニケーション能力と対人スキルの基本を学ぶ。
授業の内容	<p>1回 (講義) I. 感染防止－1 オリエンテーション 看護技術とは 感染防止の基本、スタンダードプリコーション、衛生学的手洗い、個人防護具</p> <p>2回 (講義) II. 療養生活環境の調整－1 環境とは、療養生活の環境、ベッド周辺の環境整備、ベッドメイキング</p> <p>3回 (講義) III. 活動・休息の援助－1 体位と体位保持、ボディメカニクス、移動・移送</p> <p>4回 (演習) I. 感染防止－2 演習ガイダンス 感染防止の技術(手指消毒、手洗い、感染防護具の着脱)</p> <p>5回 (演習) II. 療養生活環境の調整－2 環境整備、リネン類の取り扱い、ベッドメイキング</p> <p>6回 (演習) II. 療養生活環境の調整－3 ベッドメイキング</p> <p>7回 (演習) III. 活動・休息の援助－2 体位変換・保持、移動・移送(車椅子・ストレッチャー)</p> <p>8回 (演習) III. 活動・休息の援助－3 体位変換・保持、移動・移送(車椅子・ストレッチャー)</p> <p>9回 (講義) IV. 清潔の援助－1 皮膚のメカニズム、清潔の意義、清潔援助の方法</p> <p>10回 技術試験</p> <p>11回 (演習) IV. 清潔の援助－2 身体の清潔(洗髪)</p> <p>12回 (演習) IV. 清潔の援助－3 身体の清潔(洗髪)</p> <p>13回 (演習) IV. 清潔の援助－4 身体の清潔(清拭、寝衣交換)</p> <p>14回 (演習) IV. 清潔の援助－5 身体の清潔(清拭、寝衣交換)</p> <p>15回 総括</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活援助技術を提供できる能力が習得できる。 2. 科学的根拠に基づいて生活援助を計画し、実践する基礎的能力が習得できる。 3. 対象者の状況に合わせて生活援助技術を提供できる基礎的能力が習得できる。 4. 生活援助に必要なコミュニケーション能力の基本が習得できる。
授業の方法	<p>【授業形態】 講義形式と演習形式を併用して行う。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 演習はAクラス・Bクラスに分かれて行い、さらに3～4人のグループに分かれて行う。演習グループはその都度提示する。演習室の準備と後片付けは、演習の一環として教員の指示のもと、学生が交代で主体的に行う。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <p>【その他特記事項】 必要に応じて、知識の習得を確認するための小テストを行う。</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 小テスト、課題、技術試験、筆記試験</p>

	<p>【割合】 ①小テスト10点、②課題10点、③技術試験20点、④筆記試験60点 評価点=①+②+③+④=100点</p>
教科書・テキスト	系統的看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2019 系統的看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2017
参考書	看護がみえるvol.1 基礎看護技術 メディックメディア 2018 ※その他、必要に応じて授業内で提示する。
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	講義・演習では個人が主体的に学ぶことが基本となります。そのため、次の項目に留意してください。また講義・演習の前後には、それぞれ60~90分の学習時間が必要となります。 1. 講義・演習前に教科書の該当箇所および授業資料を精読するとともに、関連する動画を視聴して予習しておいてください。 2. 講義後にもう一度教科書と授業資料を読み、講義内容の確認と知識の整理をしておいてください。 3. 演習後に実施内容と注意点について振り返り、整理しておいてください。 4. 演習で実施した技術が定着するように、自己学習してください。(技術の自己学習のために演習室を開放します。事前に担当教員に相談してください。) ※必要に応じて、講義・演習の事前課題や事後課題を課します。
履修上の留意事項	1. 必ず事前学習をして講義・演習に臨んでください。(事前学習が終わっているものとして、講義・演習を進めます。) 2. 提出物は提出期限を厳守してください。 3. 講義・演習の出席は、「出席カード」で確認します。 4. 講義・演習中のスマートフォン、携帯電話、タブレット端末等の使用は原則禁止です。 5. 演習には、看護師としての自覚をもち、身だしなみを整え、患者さんを想起し、私語は慎み、技術習得のために真摯な態度で臨むようにしてください。
オフィスアワー	
課題に対するフィードバックの方法	提出した課題レポートについては添削して返却する。
実務経験	看護師
その他	1. 講義・演習は全出席を基本としますが、やむを得ない事情で欠席する場合は可能な限り迅速に担当教員に連絡・相談し、自己学習を行ってください。 2. ここに書かれていない留意事項の詳細は、第1回授業のオリエンテーション時に説明します。